

平成30年度 自立支援協議会各専門部会の取組

相談部会（市）

●活動理念目的 「誰もが自分らしく安心して暮らせる街をつくる」

開催回数	取組計画	実行	評価・課題
12	① 本人のニーズをきちんと聴き取るためのアセスメント力を向上させる ② 相談実態報告を通して、分析、課題の抽出をする ③ サービス提供事業所との顔の見える関係作り	・スキルアップ研修 ・相談支援実態報告の整理、分析 ・就労部会との交流会 ・介護保険意向フローチャートの周知	・スキルアップ研修の継続 ・相談支援専門員の質の向上及び負担軽減 ・実態報告から課題の洗い出し ・他職種との交流継続

くらし部会（圏域）

●活動理念目的 「入所施設からの地域移行を進めて本人が希望する生活を実現する」

WG	開催回数	取組計画	実行	評価・課題
意向聞き取り・資源見学会	10	① 意向聞き取り調査を検討し、地域移行が実現できる手立てを考える ② 本人・家族が地域移行に安心してチャレンジできる情報の提供 ③ 意向聞き取り調査や施設が相談支援支援事業所の活動できるシステム作り ④ 参加者が満足できる資源見学会の実施	・意向聴き取り調査の実施(2施設・予定4⇒3人) ・当事者プロジェクトとの交流会(2施設・家族含む)	・24時間ケア・身体障がい者向けGH等の資源不足 ・家族の不安(施設に戻れることの担保・気軽な体験) ・交流会実施で当事者のリアルな体験の情報提供 ・次年度以降、対象者の検討(入所者⇒入所待機者)
研修・ケース会議	11	① 平成29年度の聞き取り調査、資源見学会に参加された方を対象に、本人や取り巻く環境等のケース会議を行う ② 伊賀圏域の関係機関が一堂に会し、地域で暮らし続けるための研修会を企画・開催する	・ケース会議実施(昨年度聴き取り2ケース) ・障がい者当事者プロジェクト研修会開催	・課題抽出 ・次年度取組見直し検討 ・地域課題の検討について民生委員との連携が必要

●活動理念目的 「だれもが自分らしくともに暮らせる ひとづくり・しくみづくりまちづくりをすすめる」

地域生活支援拠点整備	随時	① 緊急時の受け入れ資源とその体制について具体的に整える ② 体験の場とその稼働体制について具体的に構築する ③ 相談支援と地域資源の体制を具体的に構築する ④ 必要な経費シュミレーションを行い予算化していく	・圏域単位での協議 ⇒ 各市単位で検討 ・市内事業所整備法人に聞き取り調査	・現状把握と課題確認 ・次年度拠点整備に向けての取り組み⇒すべての機能ではなくできる部分から進めていく
------------	----	---	--	--

●活動理念目的 「精神障がい者がいきいきと生活する地域づくり」

社会調査・ケース会議	7	① バスツアー参加者の現状(退院した人・していない人)を確認し、地域移行・地域生活に必要な要件、課題を抽出するためのケース検討を行う ② 通院患者が安心して暮らすための地域や資源等の現状把握・課題分析を行う ③ 課題の共有と解決に向けた仮説を立てる ④ ピアサポーターの活用を通して地域啓発を行う	・過去バスツアー参加者の状況確認 ・ヘルパー人材確保育成WGと連携 ・三重県精神科医療と福祉連携研修参加 ・ピアの作業療法への参加	・65歳以上の対象者が多く、介護保険との連携が必要 ・他職種(計画相談・医療機関など)との交流継続と連携強化 ・課題の共有は完了したため解決に向け、次年度に繰り越し、WG名を「精神障がい地域包括ケアシステムWG」と変更し、システム構築に向け取り組む
------------	---	---	--	--

●活動理念目的 「居宅介護サービスの質・量の向上の取り組みを行い、地域福祉サービスの安定と充実をはかる」

ヘルパー人材確保育成	6	① 管理者交流会を企画実施する ② 事業所間交流会を企画実施する ③ スキルアップ研修を企画実施する(年2回) ④ ヘルパー人材確保に関する啓発活動を実施 ⑤ ガイドライン作成チームを編成する	・介護体験イベント ・事業所間 現場交流研修会(前期・後期) ・居宅介護事業所管理者交流会 ・居宅介護マネジメント研修会(2回) ・事業所向けサービスガイドラインの作成	・人材発掘と育成のための具体的な取組 ・スキルアップ研修の継続 ・事業所向けサービスガイドライン等の周知 ・他職種との交流継続と拡大
------------	---	---	--	---

就労部会（圏域）

●活動理念目的 「就労ステージ(雇用の場・就労福祉サービス、地域活動の場等)の多様な環境を整え積極的な社会参加ができる地域を構築していく」

開催回数	取組計画	実行	評価・課題
4	① 相談部会(計画相談支援事業所)との連携 ② 企業とのつながり ③ B型アセスメントの見直し ④ 企業情報の集約と発信	・相談部会へ参画 ・事業所連絡会の開催 ・次年度企業向け研修会計画の検討 ・B型アセスメントマニュアルの課題抽出を行い改訂の検討(事業所アンケート調査等) ・企業情報の集約、発信の取り組み	・サービス事業所意見書の様式変更 ・次年度企業向け研修会の開催(5月頃開催予定) ・B型アセスメントWGで検討 ・伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター(ジョブサポートハオ)が中心となり企業情報集約・発信を行う